

令和6年度日中サービス支援型指定共同生活援助評価シート

評価日：令和7年2月20日

評価事業所名：ソーシャルインクルーホーム古河中田

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会記入欄】 ※グレー枠はプルダウンで選択 要望・助言・その他を選んだ場合は内容を記載
1. 地域に開かれた運営	①利用者に対する指定計画相談支援に提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 20 名中、 17名	■特になし
	②実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例) 受け入れ実績なし	■特になし ①積極的な受入れを希望します。
	③地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 古河市社協ふくしまつり：陽の夏祭り：古河関東ド・マンナカ祭りなどに参加して、地域住民との交流の機会を確保している。(利用者様に参加希望を確認し参加する利用者様のみ)	■要望・助言 ①積極的に地域との交流の機会を増やして、利用者の参加を促していただきたい。 ②地域との関わりや交流を続けてほしい。
2. 常時の支援体制の確保	①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 1階・2階とも24時間切れ目なく職員を配置している。 平日・土日関係なく1階・2階ごとに日勤1名～2名以上、夜勤1名～2名以上を配置している。	■特になし ①十分な配置で評価できます。 ②夜間の職員配置は常勤換算で施設基準をクリアしていると思いますが、チラシには「夜間4名」と記載されているので、利用者の誤解が生じないよう注意が必要と思う。
	②災害時における、利用者への安全対策（マニュアル作成等）を講じているか。	(安全対策（マニュアル）や避難訓練の実施等の事例)・消防計画（火災） ・非常災害対策計画（地震） ・避難確保計画（水害） ・各計画に基づいて、避難訓練を行っている。 ・災害備蓄品を備えている。 ・BCPを策定し、研修・訓練を行っている。	■要望・助言 ①安全安心を担保する意味においても、確実に安全対策を行っていただきたい。
	③体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法（急な体調変化等）) ・わたらせ在宅診療所と24時間支援体制を確保されていて、利用者様の急変に対し、助言・訪問をして頂き、迅速に対応している。	■特になし ①今後も協力医療機関と連携を密にし、利用者対応に当たっていただきたい。
	④利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) ・食材発注業者が示す調理方法に基づいて、食事ごとにホームで調理し、出来立てをその場で提供している。 ・食事形態は利用者様それぞれの咀嚼・嚥下機能に合わせて、お粥にしたり、刻みにしたりしている。 (献立作成法) ・食材発注業者の栄養士によって、適切な栄養価に基づいて計算されている。	■特になし ①食事が楽しみとなるようイベントや行事の際には季節を感じられるようなものがあると良い。 ②利用者に合わせた個性の高い食形態等の提供は評価できる。
3. 短期入所の併設	①地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 2 名	■特になし ①緊急時の短期入所受入れをお願いしたい。
	②緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(通常受入人数) 2 名 (緊急受入事例) ・古河市案件で、親からの虐待：親の緊急入院など	■要望・助言 ①緊急時の短期入所受入れをお願いしたい。 ②緊急時にも対応して下さるので、安心できると思う。 ③緊急・一時的な利用者様の受入ありがとうございます。ぜひ、古河市地域生活支援拠点の「緊急受入・対応」「体験の機会・場の提供」等登録して頂き、古河市の様々な緊急時のニーズに合った受入先の一つとなって頂ければと思う。 ④緊急時にも受入れを工夫しながら対応していただきありがたい。

4. 支援の実施・質の確保	①充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 古河桃まつり 2か月毎に近隣の床屋に職員同行にて外出する。 行政手続き等の同行 近隣の神社まで散歩する。(初詣・マルシェ) ホーム全体のレクリエーション(季節の行事) 利用者様それぞれに合わせたレクリエーション (点つなぎ・塗り絵・ドリル等)	■特になし ①引き続き生きがいをを感じる外出や余暇活動推進を行っていただきたい。 ②日中の生活が楽しくなるよう余暇の支援や本人の趣味等を見つめられるような支援を続けていただきたい。
	②支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) サービス管理者実践研修 研修(1)名 強度行動障害支援者養成研修 研修(3)名 (自組織で開催した研修) 時期 1月:7月 内容 虐待防止・身体拘束等適正化委員会 参加者 21名 時期 2月:8月 内容 感染症・食中毒 参加者 20名 時期 4月 内容 緊急対応 参加者 18名 時期 5月 内容 権利擁護・接遇マナー 参加者 18名 時期 6月 内容 誤薬防止・誤薬に伴うリスク 参加者 21名 時期 10月 内容 障がい特性 参加者 18名 時期 11月 内容 ハラスメント 参加者 18名 時期 12月 内容 事業理念・意思決定支援とは 参加者 21名	■特になし ①研修が体系的に計画、実施されていることは評価できる。
	③一定の研修を終了した者を配置しているか。	・強度行動障害支援者養成研修【基礎】2名・【実践】2名 ・行動援護従事者養成研修 0名 ・各痰吸引等研【第一号】0名【第二号】0名【第三号】0名 ・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程 0名	■特になし
	④体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名 (体験利用の事例) (体験利用料金) 0円/泊 6泊7日	■要望・助言 ①体験的利用のPRを行い広く周知することで利用者が増えるかもしれない。今後も期待したい。 ②採用時に事業所の方向性、大切にしていることを丁寧を理解してもらうことで定着率を高めることができる。 ③定着率の低さに関して、採用のミスマッチを防ぐ事や働きやすさをサポートできる体制を作る事等により、その後の定着率に繋がるかと考えられる。
5. 利用者の権利擁護等への配慮について	⑤改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) ・スタッフの確保と定着率の低さ(利用者・家族からの意見・希望) ・サービスに対する不満や心配がないよう、利用者・家族の意見を親身になって受け止め、寄り添う姿勢を見せられるよう取り組んでいる。 (苦情受付体制について) 要望・苦情等申立に関する相談窓口【各事業所】【本社】 (家族等への連絡機会・頻度) ・利用者様の状態・ニーズの情報の共有・随時	■特になし ①ぜひ体験の機会を施していただきたい。
	①利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ご利用者様と預り金等管理委託契約書を締結している。 月ごとに金銭出納管理をしている。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等 ご利用されている利用者様はいない。	■特になし ①適切に管理されていると感じました。 ②食費・日用品費・光熱水費の利用者実費精算について、月毎に実施されているのは大変素晴らしいと思う。今後も適切な方法にて継続して行って頂きたいと思う。
	②利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者)に配慮した支援、取組み 【排泄】排泄しやすい環境を整え、排泄リズムを把握し個別的に支援する。 【入浴】タオルを使用したり周囲の視線を遮ったりして、利用者様の身体が不必要に露出しないよう支援する。 ・支援者以外のスタッフが浴室には入る際には必ずフックする。 ・利用者様の希望がある場合は、同性職員による支援を行う。 【着衣】利用者様が他人に見られることなく、安心して着替えられる環境を整え支援する。 【情報共有】支援に直接関係する必要な情報だけ交換し、不要な個人情報の共有は避ける。 ・利用者様やご家族様が答えたくないような内容を無理に聞きださない。	■特になし
③虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 虐待防止に関する外部研修を受講している。 人権や権利擁護・不適切な支援の具体例・虐待に関する事など (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待防止委員会にて、虐待防止責任者である管理者を中心に話し合いをし、何かあればすぐにご家族様や相談員、行政に報告相談している。 虐待防止委員会にて、セルフチェックシートを用いて振り返り、権利擁護や虐待防止に関する知識や認識が不十分であったため、職員全員に周知をし虐待防止研修を行う。	■特になし	

6. 入居/退去状況について	①報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 1人 (報告・評価対象年度の退去者数の事由) ・退去者数 1人 ・主な退去事由:S状結腸癌に入院し手術する。ご本人食事を拒否し高カロリー輸液を施行し退院の見込みがない為、退去となる。	■要望・助言 ①可能であれば、退去者のフォローを市内事業者と共同していただけるとありがたい。
7. 他の日中活動サービスの利用	①GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGHで過ごす利用者様に対する支援・サービスの提供) 【食事】 ・食材発注業者が示す調理方法に基づいて、食事ごとにホームの職員で調理し、出来立てをその場で提供していること。・食事形態は利用者様それぞれの咀嚼・嚥下機能に合わせて、お粥にしたり、刻んだりしている。・食事摂取量を記録し、必要に応じて、主治医等に情報共有している。・食後等に処方されているお薬の内服の支援を行っている。・衛生面に配慮し、作った食事は2時間を目安に破棄している。・利用者様等のご要望に合わせて、食事後の食器洗いを職員と一緒に頂く。(個別支援計画)・共同生活のなかで、一緒に食事する楽しさや食事の中から生まれるコミュニケーションを感じることが出来る。 【入浴】 ・入浴時間は、利用者様の生活リズムに合わせて、入浴時間を決めている。・自分で入浴が出来る人は、見守り、一人で入ることが難しい場合は介助支援を行う。・全身の皮膚状態を観察し必要に応じて、主治医に情報共有をしている。 【排泄】 ・利用者様の身体の状態に合わせて、トイレにお連れし衣服の着脱介助をしたり、ベット上で、おむつ交換したり支援している。(個別支援計画)	■特になし
	②他の日中活動サービスの利用を妨げているか。	(他の日中活動の利用状況) ・他の日中活動サービスを利用20名中、15名(主な他の日中活動サービス種類・利用先) ・生活介護 「ありがとうの花」「陽」 ・就労継続支援B型 「リハワーク」 「サフラン工房」 「めく就労継続支援B型五霞:加須」 ・地域活動支援センター「みどりの家」	■特になし ①利用者のご希望に沿い日中、外部の施設を積極的に利用されており良い。
8. 利用者の健康管理	①日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) 訪問診療 月2回(業務委託を結んでいる) 看護師の訪問については、医療行為のある利用者様に対しては、毎日 訪問歯科 利用者様により月1回 (健康チェック方法について) 毎朝 バイタルチェックをしている。 (緊急時連絡体制の確保) 24時間365日オンコール体制(看護師に相談できる)がある。	■特になし ①定期的な健康診断等も受けられると、より体調や健康面での情報がわかりやすいと思う。
9. 他事業所との連携	①相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) 相談支援事業所とは緊急時は勿論、常に施設の状況の連絡を取りあっていて、利用相談や個別支援状況の共有を行っています。 通所先の方々とも日々日数を重ねるごとに利用者様の様子などが詳細に連絡取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になった点などの相談を行っています。	■特になし ①相談支援事業所や他の事業所と連携体制が整っていることはとても良い。
10. その他	[独自に「定める項目を記載」]		■特になし
11. (2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応)	■特になし